

地域包括支援センター運営協議会・第2回地域ケア推進会議

議事録

1. 開会 16:30 開会。

2. 部長挨拶

3. 会長挨拶

市の人口減少も踏まえ、高齢者が安心して住み続けられるまちづくりのため、市民調査内容を検討したい。

皆の意見を計画に反映したい。

4. 議題

(1) 基礎調査について（事務局説明）

前回の回収率

ニーズ調査：58.8%

実態調査：58.0%

委員より特に異議なし。

■ ニーズ調査票（日常生活圏域）に関する意見

● 生きがいの設問について

草野委員：「生きがい」という言葉が重く、ネガティブな回答を招く可能性。

→「楽しみ」などポジティブな表現への変更はどうか。

事務局：国指定設問のため基本変更できないが、地域活動の設問で補える。

● 嚥下（えんげ）障害に関する設問追加

草野委員：嚥下障害が在宅で潜在化している可能性。嚥下調整食利用の実態を問う項目を追加できないか。

事務局：ニーズ調査の独自項目として追加検討する。

久保委員：嚥下は歯科・入れ歯の調整とも関連。歯科受診や入れ歯調整の状況も含められないか。

● 実態調査の設問追加（食事介助に関する続きの問）

福永副会長：食事介助を不安に感じる回答者へ、追加質問ができないか。

→ 設問追加は難しいが、調査票の構造内で検討。

■ 個人情報の扱い

久保委員：被保険者番号で特定されないか。

事務局：要介護度確認にのみ使用し、個人特定目的では使わない。

■ 視力障害者の回答支援

事務局：ケアマネに記入支援を依頼予定。

■ 運転に関する不安の把握

草野委員：運転不安の有無を把握できる設問は可能か。

事務局：既存設問である程度把握可能。国設問のため追加は難しい。

中村委員：農村部では免許返納＝生活困難につながる。実態として理解してほしい。

会長・事務局：重要な意見だが、今回の介護保険調査で扱うのは難しい。関係部局へ共有したい。

■ 自由記載欄について

事務局：アンケート末尾の自由記載欄で幅広い意見を拾える。

■ 設問で「3つまで」と指定がある理由

事務局：統計処理上、有効な集計のため選択数を制限している。

5. その他

嚙下関連項目について調整し、調査票は後日郵送予定。

6. 閉会 17:40 閉会。